

12月6日(土)

講師 杉本源造氏
一般社団法人日本考古学協会会員

第1講 綾戸遺跡から出土した 木製品について

6世紀末から7世紀初めの竜王町の暮らし

木製品が語る
人びとの暮らし



令和7年度

りゅうおう歴史文化講座

●問い合わせ・申し込み先

竜王町教育委員会事務局生涯学習課
TEL:0748-58-3711

FAX:0748-58-2655

メール:syogaku@town.ryuoh.shiga.jp

ふるさとの歴史・文化をもつと身近に 2025

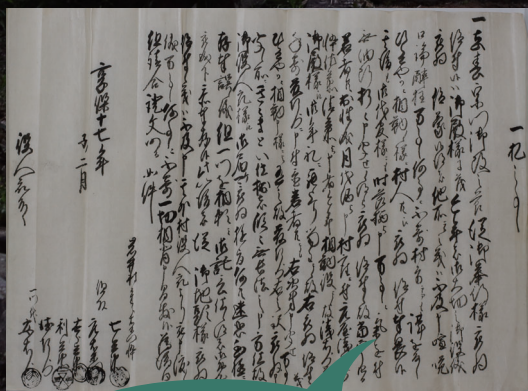
第2講 江戸時代の制度と 竜王町の地域社会

12月13日(土)

講師 井上ひろ美氏
いのうえ ひろみ

文化遺産プランニング代表

主催・竜王町教育委員会



古文書が語る
地域社会

開催場所 竜王町公民館 2階研修室
(滋賀県蒲生郡竜王町大字小口276番地1)

開催時間 13:30~ 15:30

受講料 各回 500円(当日ご持参ください)

定員 各回 70名(定員になり次第締め切り)

申込方法 電話(平日のみ)・FAXメールにて
氏名(ふりがな)・住所・連絡先(電話番号)
参加希望回をお知らせください

第1講 12月6日(土)



多量の木製品が出土した川跡（大字綾戸）

「綾戸遺跡から出土した木製品について」

ー 6世紀末から7世紀初めの竜王町の暮らしー
杉本源造氏 一般社団法人日本考古学協会会員

綾戸遺跡 あやど
弥生時代前期から現代まで続く、日野川中流域の中心集落（歴代遺跡）として知られています。
今回報告する木製品は、二〇〇〇年の発掘調査で川跡から六世紀末の須恵器とともに斎串（いぐし）などの祭祀具と製糸具、織機の部材が出土していることが分かりました。
古墳時代後期（六世紀末）の竜王町で渡来系の人々がどのような暮らしをしていたのか、町内の遺跡分布とあわせて、わかりやすくお話しします。
（杉本）

第2講 12月13日(土)



権現堂（大字西横関）

「江戸時代の制度と竜王町の地域社会」

井上ひろ美氏 文化遺産プランニング代表

江戸時代初期 幕府は多くの政策により全国の統治体制を固めました。村や町、身分、宗教、人口、土地、生業など、地域社会のあらゆる側面が「見える化」を通じて統治・把握されたことは、竜王町の先人たちの暮らしだけでなく、現代に生きる人々の生活にも大きな影響を与えています。
今回の講座では五人組制度、宗門改や檀家制度など地域と社寺に関わる制度を中心に紹介しつつ、現代における地域コミュニティの希薄化、廃寺の増加など社会現象の要因について歴史を通じて考えます。
（井上）

令和7年度

りゅうおう歴史文化講座

開催場所 竜王町公民館 2階研修室

（滋賀県蒲生郡竜王町大字小口276番地1）

●最寄りの交通機関

JR近江八幡駅(北口)から
近江鉄道バス「岡屋線」
「竜王町タウンセンター」バス停下車すぐ
近江鉄道バス「八幡アウトレット線」
「竜王町総合庁舎北口」バス停下車
徒歩約10分

